

[22_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468191>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 22 (1), 1989-01-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

編集後記

センターに勤め始めてようやく1年が過ぎた。根っからの文系人間で、計算機など見たことも触れたこともなかった私だが、よもや大型計算機センターの広報の編集に携わることになるなど、1年前には知る由もなかった。情報化社会だとか、データベースだとか、ネットワークだとかいう言葉を耳にはさんだり、活字を見たりしたことくらいはあっても、何か遠い別の世界のこととしか捕らえることができなかった。先日、何と言う気はなしにパンセを読み返していて気づいたのだが、それは、パスカルの言うところの“幾何学の心”を持ち合わせていないからではないかと思う。パンセ上巻「幾何学の心と繊細の心とのあいだの相違」の冒頭の部分で、“幾何学の心”を“計算機”に置き換えて読むと、まるで自分のことを指摘されているようで、いみじくも言い当てたものだと自分勝手に感心してしまった。以下その部分を引用する。

「“計算機”においては、原理は、明白であるが、通常の使用から遠ざかっている。従って、人はそのほうへ顔を向けようとはおもわない。習慣がないからだ。しかし少しでもそのほうへ顔を向けるならば原理は十分に・見える・。人の眼を逃れることのほとんど不可能なほどに大きいこの原理の上で、誤った推理をしようとするならば、全く不正確な頭脳をもつよりほかあるまい。」（新潮文庫/津田 稔 訳）

利用者の皆さんには何かピンとこない話かもしれません。しかし、自称“繊細な人々”の一人である私には、「かずかずの命題を出されて、それらを何も理解することができずまたそれらに立ち入るためにはかように詳細にわたっては少しも見る習慣がなかったところの・じつに・味気ない定義や原理を経てゆかなければならぬということになると、大いにおどろいて、気をおとし、厭気をおこす。」のです。

しかし、パスカルはまた「愛の情念に関する説」の中で、「幾何学的な心と繊細の心とを共に持つとき、愛は何と喜びを与えてくれることであろう！なぜなら人は心の力と柔軟さとを同時に所有することになる。」とも言っている。これは私なりの勝手な解釈なのだが、つまり彼は、バランスが大切だということを言いたいのではないだろうか？信念を貫きとおす心の強さと、そのために時には回り道をしたり、他人に譲歩したりする心の柔軟さ、その二つをバランスよく持つことができれば、人間に幅ができ、人生もっと生きやすくなるような気がする。

以上、述べたことはあくまで私の理想で、実際には理想とは程遠い低い次元の世界で余裕などなく、自分を幾度も見失いそうになりながら、手探りで生きている。それでも1月は私にとってoptimisticな月だ。カレンダーが新しくなっただけで、特に身辺に変わった事など起こらないのに、今年こそはしっかりと生きようと、決意させられるから。また不思議なことに何かが出来そうな気がするものだ。このページを皆さんがご覧になる頃にはおとそ気分も抜けて、新年の抱負を胸に仕事に研究にと精力的に取り組んでおられることと思います。今年1年の皆さんのご活躍を心からお祈りします。

M.

投稿のしおり

センターでは利用者の方々と深い交流をはかるため、次のような種類の原稿を募集しています。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 随想 | 2. 計算機利用による研究・開発の紹介 |
| 3. プログラムの実例と解説 | 4. センターに対する質問・要望 |
| 5. 利用者の声 | 6. その他計算機に関すること |

執筆上の注意

1. 原稿用紙は原則として、センター規定のものを使用して下さい。共同利用掛にあります。
2. 黒鉛筆、黒ボールペン、黒インクのいずれかで書いて下さい。または、ワードプロセッサの出力結果でも結構です。その場合、下記の書式を目安に原稿を作成して下さい。
3. 原則として、当用漢字、現代かなづかいで統一して下さい。
4. 数字、英文字、大(小)文字、上(下)ツキ等混同しやすい文字は、はっきりと分かりやすく指定して下さい。
5. 図・表は別紙に明瞭に書き、挿入位置を明示して下さい。
6. 別刷りは原稿提出時に希望があれば、50部まで無料とします。
7. 執筆者は初校のみ校正していただきます。なお、再校以降の加筆・修正は原則として認めませんので、ご了承下さい。
8. 原稿の締切は原則として広報発行日(奇数月の25日)です。但し、3月は15日締切となります。

原稿の掲載については広報教育委員会で検討させていただきます。その他、投稿に関するお問い合わせは共同利用掛(内線2515)へどうぞ。

原稿の送付先は次の通りです。

福岡市東区箱崎6丁目10番1号(〒812)
九州大学大型計算機センター 共同利用掛

記

ワープロ文書(一太郎)の書式設定(用紙サイズ A4)			
1行文字数	86文字(半角)	1ページ行数	43行
上端マージン	25mm	下端マージン	25mm
左端マージン	20mm	右端マージン	25mm

広報の配布を希望される方は、官製葉書に下記事項を横書に記入してお送りください。

- 氏 名
- 職 名
- 所 属
- 広報発送先および住所（郵便番号）と電話番号
連絡場所（連絡所がある場合）

宛 先

〒 812 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

九州大学大型計算機センター共同利用掛

641-1101 (代) 内線2505